

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	免疫システムによるがん治療法の効果予測因子と、がん悪性化の基礎研究 (免疫療法における患者選択に関わるバイオマーカーの開発とがん進展制御因子の機能解析に関する研究)
研究期間	2018 年 4 月 ～ 2019 年 3 月
研究機関名	(公財) がん研究会 がん化学療法センター
研究責任者職氏名	基礎研究部 部長 片山量平

※献血者に対しても理解しやすく、平易な文言を使用した課題名を記入してください。

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

免疫システムは細菌やウイルス等の外部からの異物のみならずがん細胞を排除し、私達を守っています。その一方で、がん細胞は免疫抑制機構を巧みに利用して免疫から逃避し、進行がんへと進展していくことも分かってきました。近年、このような因子を標的とした免疫チェックポイント阻害薬が様々ながんにおいて治療成績を改善しており、外科的療法・放射線療法・薬物療法に加えて新たな治療の選択肢として注目されています。しかしながら、まだ有効性は一部の患者に限られており、また一旦奏効しても治療耐性の出現などが問題となっています。これまで我々は、がん研究会有明病院にて同意の得られた患者様からのがん臨床検体を用いてがんの転移や治療耐性機序の解明と新規治療法の探索を進めてきました。本研究では、健常人全血から血球成分や血小板を分離し、がん細胞の免疫逃避やがん悪性化に関わるメカニズムを明らかにすることにより、新たながん治療法及び患者選択に関わるバイオマーカーの開発が期待されます。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：全血（規格外）

献血血液等の情報： なし

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液より血清を分離し、細胞培養に使用します。また、残りを末梢血単核球(PBMC)及び血小板に分画します。PBMC は試験管内で抗原刺激やがん細胞との共培養、薬剤処理等を行い、免疫によるがん細胞の認識とがんの免疫逃避機構の詳細を解析します。血小板はがん細胞と共培養等することで、血小板との相互作用や血小板から放出される因子の関与、治療の標的となりうる因子の解析を行います。

5 献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがってご連絡をお願いします。

受付番号

30J0047

本研究に関する問い合わせ先

所属	(公財) がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部
担当者	部長 片山量平
電話	03-3520-0111 (内線 : 5421)
Mail	ryohei.katayama@jfcr.or.jp

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。

0000-00